

平成30年5月11日

保護者 様

尾張旭市教育委員会

麻しん（はしか）にご注意ください

日ごろは本市の教育についてご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

このたび、愛知県教育委員会尾張教育事務所長より、愛知県における麻しん（はしか）の患者数の増加に伴う注意喚起がありました。

つきましては、下記のことにご留意し、対応していただくようお願いいたします。

記

1 麻しんとは

麻しんウイルスは、感染力が強く、飛沫・接触だけでなく、空気感染^{※1}もあり、免疫を持っていない人が感染すると多くの方が発症すると言われています。

（※1）ウイルスの空気中での生存期間は2時間以下と言われています。

感染すると、約10～12日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱が2～4日間続き、咳や鼻水といった風邪のような症状が出ます。その後、少し体温が下がり、再び高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。発疹出現後3～4日間で解熱し症状は軽快、合併症のないかぎり7～10日後には症状が回復します。

近年は、幼児期に麻しん・風しん（MR）ワクチンの2回接種^{※2}が行われ、麻しんにかかる人は減っていますが、海外の流行国への渡航歴がある人やその接触者で患者が発生しています。

（※2）2回接種を受けている場合でも、まれに感染することがあります。

2 症状が出た場合の留意事項

発熱、発疹等の症状から麻しんが疑われる場合には、必ずマスクを着用し、事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡の上、速やかに受診してください。

また、受診の際は、周囲への感染防止のため、公共交通機関の利用は避けてください。

3 その他

(1) 予防接種歴は母子健康手帳でご確認ください。

(2) この件についてのお問い合わせは、教育行政課学校教育係までお願いいたします。

電話 0561-76-8178